

細田ともや

違いを認め合い 互いを尊重しあえる
“入間市”を目指すために！

～プロフィール～

平成3年 女性として生まれる．入間市立野田中学校卒業、私立埼玉平成高等学校卒業
帝京大学医療技術学部臨床検査学科卒業．大学在学中に、女性→男性に戸籍変更
臨床検査技師として病院勤務．2017年入間市議会議員選挙 最年少25歳 初当選

ご挨拶

令和2年も早いもので残り半年を切りました。

新型コロナウイルスの感染症が拡大し、入間市でも様々な影響が出ております。

感染症緊急対策31事業の他、追加事業で『いるまスマイルチケット販売』など

市民の生命と健康を守る、市民の生活を守る、まちの活気を守る ために取り組んでおります。

皆様におかれましても、こまめな手洗いや咳エチケットなど基本的な感染予防を徹底して頂き、
体調にご留意ください。今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

一般質問

3月議会では、新型コロナウイルスによる執行部の業務量を考慮し、各議員が一般質問を取り下げました。市民の方から、聞きたかった内容だったとお声を頂き、6月議会で改めて一般質問として取り上げさせて頂きました。

入間市自殺対策計画について

質問 (1) 入間市の重点施策

- (2) 重点施策に対する取り組み
- (3) 児童生徒に対する取り組み
- (4) 計画に基づく今後の取り組みと課題



答弁 (1) **「高齢者への対策」「生活困窮者への対策」「勤務・経営対策」**の3点を推進していく

- (2) ・「高齢者への取り組み」、高齢者の社会的孤立や孤独を予防するために「見守り事業」や「居場所づくり事業」などを実施
 - ・「生活困窮者への取り組み」、多様な問題を抱え、生活に困窮している方に対し、関係部署が連携しながら、自立に向けた生活困窮者支援を実施
 - ・「勤務・経営対策」、労働環境の多様化に対応できるよう、**若年者就業相談・労働相談・自立支援セミナー**や相談会などの事業を実施
- (3) 各学校において児童生徒に対し、学級担任等が定期的に教育相談を実施
相談にきめ細かく対応するため、各中学校にさわやか相談室を設置するとともに、小中学校にはスクールカウンセラーを配置
- (4) 重点施策の取り組みを推進し、また、地域住民が社会的に孤立することがないようお互いに助け合っていると思える地域づくりを推進していく

成年年齢の引き下げに伴う消費者教育の充実・強化について

- 質問 (1) 消費生活センターにおける相談体制
(2) 成年年齢の引き下げに伴う課題
(3) 消費者教育の必要性
(4) 学校における消費者教育

- 答弁 (1) 平日の午前9時30分から午後4時30分までの間、消費生活相談員が2人体制で電話や来所による相談を受け付け
(2) インターネットやSNSが生活に欠かせないツールとなっており、利便性が向上する一方で、これらを利用した消費者被害も増加している。
(3) 経済社会の環境が著しく変化し、消費者を取り巻く取引関係は複雑化・情報量も増大している。幼児期の早い段階から基礎的な知識を身に付けられるよう、消費者教育を推進していくことが、大変重要と認識している。
(4) 令和4年4月から20歳から18歳へ引き下げられることになり、義務教育における消費者教育が重要となってくる。

買い物弱者への支援・対策

- 質問 (1) 当市の買い物弱者の現状及び高齢化率の独居世帯率の推移
(2) 買い物の弱者の実態把握を

- (1) 6月1日時点での高齢化率は、平成30年27.9%、令和元年28.5%、本年は29.1%
1月1日を基準日としている「高齢者実態調査」において独居世帯率は、平成30年41.5%、平成31年40.9%、本年は41.8%
(2) 国において複数の省庁が異なる定義を有している為、明確な定義が示されれば、実態把握をする方法を研究する

医療用ウィッグの助成制度について

- 質問 (1) 自治体での支援の状況
(2) 政府の「がん対策推進基本計画」に基づいた医療用ウィッグ等への助成制度の現状
(3) 今後、事業としての助成制度導入の検討を

- 答弁 (1) がん治療においては、副作用として脱毛や皮膚障害などの外見の変化が生じることがあり、精神的な負担も大きくなることから、治療を続けながら社会生活を継続していく上で、**ウィッグ等の医療用補正具を必要とする方がいらっしゃることは、認識している**
助成については、現在、山形・秋田・茨城・静岡・福井・岐阜・鳥取・島根・山口県等が県の事業として、また、東京都の港区、豊島区、神奈川県横浜市、宮城県仙台市、など複数の区や市が独自の事業として実施している
(2) 国は、「がんとの共生のあり方に関する検討会」において、「アピアランスケア」について議論を始めている。「アピアランスケア」とは、化学療法による脱毛全般(毛髪・まゆげ等) また、爪の裂傷や変色、放射線治療による皮膚炎、手術療法による身体の部分的欠損(乳がんによる乳房の切除等)など、様々な外見の変化に起因する患者の苦痛を軽減するケアのことであり、医療用ウィッグもその1つと考えている
(3) 現在、県内で医療用ウィッグの助成制度を実施している自治体はない。しかし、県の説明では、今後、国の動向に合わせ助成制度について検討を進めるとのこと。
当市においても、国・県、近隣自治体の動向を注視しながら、同制度について研究していく

細田ともや 後援会発行 入間市の身近なお困り事など、お聞かせください。

〒358-0055 埼玉県入間市新光306-888

☎ 080-8739-3649

☎ 04-2633-4808

オフィシャルHP

🌐 <http://tomoya-hosoda.com> ✉ soudan@tomoya-hosoda.com

細田智也

検索

このチラシはUDフォントを使用しています。



討議資料